

JR東日本信濃川発電所への流水占用許可の概要

- 最大取水量は、316.96 m³/s（許可取消前と同じ）
（宮中取水口 166.96 m³/s + 宮中第2取水口 150.00 m³/s）
- 河川維持流量（宮中取水ダム直下へ常に放流すべき流量）として、40 m³/s（取消前は7 m³/s）の放流を義務づけ。
- 信濃川の水環境と水利用の調和のための方策を検討するため、宮中取水ダムから別表に示す試験放流量以上を放流し、河川環境の調査を実施することを義務づけ。
また、試験放流計画は信濃川中流域水環境検討協議会の意見を踏まえ、北陸地方整備局長の承認を義務づけ。
- 許可期間は、平成27年6月30日まで。
- 次回の更新申請に当たっては、試験放流の調査結果を踏まえ、試験放流の調査結果の検証を行う信濃川中流域水環境改善検討協議会の意見を踏まえ、信濃川の水環境と水利用の調和の観点から、放流等について検証し、必要があれば宮中取水ダムからの放流等を見直した上で行うことを義務づけ。
- 河川法違反等の再発防止を徹底するため、以下を義務づけ。
 - ・ JR東日本自らが作成した再発防止策への継続的な取組み、実施状況の報告。
 - ・ 取水量報告が適正であることの自主点検の実施と、点検結果の報告。
 - ・ 水利使用規則の違反が確認された時は、許可が失効。

【別表】

期 間	試験放流量 (m ³ /s)				
	1年目 (取水開始日 ～H23.3.31)	2年目 (H23.4.1 ～H24.3.31)	3年目 (H24.4.1 ～H25.3.31)	4年目 (H25.4.1 ～H26.3.31)	5年目 (H26.4.1 ～許可期限)
4月1日 ～7月19日 ※融雪・かんがい期	50.0	50.0	40.0	4月1日～ 11月30日は 40.0以上 (流量変動に 配慮した放 流) 12月1日～ 翌3月31日 は40.0	4年目まで の試験放流 結果を踏ま えた放流量
7月20日 ～9月10日 ※夏場の気温上昇 期	80.0	80.0	60.0		
9月11日 ～11月10日 ※サケの遡上時期	100.0	80.0	60.0		
11月11日 ～翌3月31日 ※冬期間	50.0	50.0	40.0		

注) 試験放流量については、河川維持流量の40 m³/sが含まれている。